

SQTS

④ 治療

① ICD

- ① 失神や心停止の既往ある者や、VT/VFが確認されている者は、ICDが必須治療と考えられる。（クラスⅠの適応）
- ② 突然死の家族歴がある症例は、クラスⅡbの適応と考えられる。
- ③ 誤作動に注意
 - ① QTが極端に短縮しているため、R波直後の高いT波を二重感知し、誤作動する場合がある。
 - ② AFを併発する例が多く、不適切作動を起こすことがある。

② キニジン内服

- ① これまでの報告ではキニジンの有効性を示したものが多く、ICDを何らかの理由で導入できない症例でファーストチョイスにあげられている。
- ② キニジンはIkチャンネルを活性化させ、QT時間を延長させる。
- ③ その他、QT時間を延長させる薬剤として報告があるものとして
 - ①ソタコール経口（Ⅲ群）
 - ②リスモダン静注（Ⅰa群）
 - ③シンビット（ニフェカレント）静注（Ⅲ群）